

埼玉県鉄道災害消防活動安全連絡協議会と合同！

11月19日(木) 南栗橋車両管区において 「2020年度 異常時総合訓練」を実施しました

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区、社長：根津嘉澄）では、2020年11月19日（木）に、南栗橋車両管区（埼玉県久喜市、最寄駅：日光線 南栗橋駅）において、埼玉県鉄道災害消防活動安全連絡協議会の訓練として、埼玉県第4ブロック消防本部およびその他の埼玉県内消防本部にもご参加いただき、合同で「2020年度 異常時総合訓練」を実施しました。

1 日 時

2020年11月19日（木）10時30分～13時00分

2 事故想定

東武伊勢崎線 和戸～久喜間の踏切道で踏切道内に進入した乗用車と、館林発東武動物公園行きの列車が接触。

これにより乗用車は大破。運転手が車内に閉じ込められ、救出が困難となるほか、列車内の乗客にも複数名の負傷者が発生。

また、この事故により同列車が脱線し、線路・架線・通信線・踏切保安装置等が損傷し、同線の上下線で不通となる。

3 訓練内容

(1) 踏切障害事故（列車脱線）発生時の初動対応訓練

踏切で乗用車と接触後、列車乗務員は併発事故防止の処置を行うとともに、乗用車の初期消火および消防隊による運転手救出訓練を行いました。



運転士による消火活動



消防隊による運転手救助訓練

(2) 消防隊と合同による負傷者の救護および避難誘導訓練

埼玉県第4ブロック消防本部と合同で、乗車されているお客様の救助訓練を行いました。

現場責任者は現場の安全を確保し、情報収集、状況を把握するとともに到着した消防の指揮者と打合せを行い、合同で負傷者救護（トリアージ）、避難誘導の訓練を行いました。



消防隊と協力したお客様降車訓練



座席を活用したお客様降車訓練

(3) 対策本部の指揮による各種設備復旧訓練

乗用車との接触により先頭車第1軸が脱線し線路、架線が損傷、通信線が断線、踏切警報機と遮断機が倒壊したという想定で復旧訓練を行いました。



脱線復旧作業



線路復旧作業



架線復旧作業



踏切・通信設備復旧作業

5 その他

当社では、今後も万一の不測の事態に備えるため、異常時に速やかにお客さまの安全確保、救出・救護が行えるように、また、早期に復旧対応を行えるように定期的に訓練を実施することで、社員一人ひとりのさらなる知識・技能の向上を図るとともに、安全意識の高揚に取り組んでまいります。